

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 秋闘要求書の提出

交渉日時 令和7年11月10日(月) 15時30分～17時00分

交渉場所 本庁舎6階602会議室

交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 柏木市長公室副部長 岡野人事課長
野口人事課副課長 加島給与係長

組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計10人

概要	要
組合の主張	<p>秋闘要求書の受理等を行った</p> <ol style="list-style-type: none">警備の民間委託について、市民サービスを維持していく具体的な手法が示されておらず、現場職員についても異動となることへの不安が大きい。分会妥結を前提として、異動後のフォローもしっかり行ってもらいたい。業務多忙により休暇取得が難しい職場がある。また、月の時間外勤務が45時間を超える職場が増えている。年次休暇の取得しやすい環境や、時間外の縮減については、そのように努めるというだけでなく、具体的に何をするかを示してもらいたい。今回、職員の年齢構成バランスも考慮するよう要求している。人材を確保しておくことの重要性は年々大きくなっている。今年の人員配置のために採用するのではなく、将来に向けて、今、人材を確保するという姿勢に転換すべき地点にいと考えている。人事院勧告等で給与引き上げが示されているが、物価上昇はそれを上回っている。職員アンケートでもどの年代も食費などの負担感が大きい。そういったことも勘案して回答をいただきたい。
当局の主張	<ol style="list-style-type: none">市民サービスの維持は大前提と考えている。また、現場職員の思いはしっかり聞かせてもらっており、これまで異動がほぼなかったこともあり、異動の不安が大きいことも承知している。総務市民協働部と連携をとって進めていく。他律的業務の比重が高い部署としての指定がない職場については、これまでから時間外勤務が月45時間を超過することのないように周知してきたところだが、超過している部署があることは事実。ヒアリング等をしっかり行い、時間外縮減に向けて対応したい。人材確保は作業技師だけの課題ではないと考えており、これまでと同じ手法では人材確保が難しくなっていることは感じている。将来に向けた人材確保の在り方について、検討していく。十分に検討して回答する。